

池田市都市計画マスタープラン（案）に対するご意見とそれに対する本市の考え方

令和4年10月3日（月）から10月24日（月）までの間、池田市ホームページ、広報誌などを通じて「池田市都市計画マスタープラン（案）」についてパブリックコメントを実施しました。

○意見提出状況

提出者数 5人 提出件数 8件

○意見の反映状況

ご意見を踏まえ修正するもの 4件

○ご意見の概要と本市の考え

※ご意見につきましては、趣旨を変えない範囲で文言を調整しております。

（1）計画等に反映する意見

No	意見概要	市の考え
1	p.40 「図14 池田市のまちの将来イメージ」について 商店街の賑わいや、企業操業について、P.37-38の都市づくりの目標との関係性が読み取りにくいので、都市づくりの目標の内容を充実されてはどうか。	商店街の賑わいについてはP.37「（1）まちや暮らしの質を高め、便利で快適に暮らせるまち」において文言を追記して言及し、企業操業についてはP.38「（4）安全・安心に暮らせる・働けるまち」において「○住宅と工場が密に混在している地区においては、住工の調和に向けた誘導を進めつつ、大阪中央環状線沿道や大阪国際空港周辺の交通の要衝としての利点をいかした産業集積や操業環境の維持改善等により、地域産業の振興をめざします。」を追記しました。

2	<p>p. 61 (1) 緑・河川をいかした都市づくり方針 ②市内の緑のネットワークの形成について</p> <p>みどりの風促進区域について、池田市域は国道 176 号線の他、大阪中央環状線も位置づけられているが、記載しないのか。</p>	<p>本市の主要な道路として国道 176 号沿道の緑化の誘導を優先的に図るものとしています。</p> <p>なお、p. 61 の注釈における「みどりの風促進区域」の説明として本市においては国道 176 及び大阪中央環状線が位置付けられていることを示しました。</p>
3	<p>p. 83 (1) 防災基盤の方針 ①被害を抑制する「減災」の視点からの防災対策の推進について</p> <p>1 項目目、2 項目目について、「緊急交通路」「指定避難所」「指定緊急避難所」が防災基盤・防災空間と別要素的に記載されているが、同様の内容に見える。</p>	<p>同様の内容であったため、統一しました。</p>
4	<p>地域別構想の地域間の施策のつながりについて</p> <p>地域別構想が策定されるが、地域単独で見るのではなく、横のつながりとして他の地域とどう連携を図るか、計画に示してみてもいいのではないか。</p>	<p>p. 88 1 地域別のまちづくり指針 (1) 地域別構想策定の基本的な考え方において他の地域への積極的な導入検討について文言を追記しました。</p>

(2) その他 (ご意見、ご質問等に対する回答)

No	意見概要	市の考え
1	<p>石橋駅周辺の開発について</p> <p>石橋阪大前駅周辺の整備が遅れているように感じる。駅からバス停までが遠い。また商店街の道幅が狭く災害時も危険であるし、商店街の中にトイレがなく不便である。</p>	<p>今回都市計画マスタープランを策定するにあたり石橋の今後のまちづくりについて地域の方々と話し合う場を設けたところ、地域の方々のまちづくり協議会を設置していただくこととなりました。今後はまちづくり協議会と連携しながら具体的な検討を進めてまいります。</p>

2	<p>地域別構想（いけだ地域）について</p> <p>いけだ地域の商業ゾーンが広いように思う。現状マンション開発等が進み、商業エリアとしては衰退しているように感じている。</p>	<p>いけだ地域の商業ゾーンは現状の用途地域の商業地域・近隣商業地域に合わせて設定しておりますが、他市と比べても池田駅周辺の近隣商業地域は少し広がっているところです。また、近隣商業地域であることが駅周辺のマンション建設の要因にもなっており、まちなかからの五月山の眺望がマンションにより阻害されているとのご意見もあることから、景観保全の観点からも用途地域の見直しなどが必要になった際には土地利用方針も見直しを行ってまいります。</p>
3	<p>地域別構想（ほそごう地域）について</p> <p>ほそごう地域については、国道沿いも農園芸振興ゾーンとなっているが、実際のところは飲食店が建ち並び、現実のところと異なるように思う。</p>	<p>国道沿道については都市軸に位置づけており沿道のポテンシャルをいかした土地利用についても進めていくところではありますが、市街化調整区域まちづくり方針において農園芸振興ゾーンに位置づけていることもあり、土地利用方針としては農園芸振興ゾーンとしております。</p>
4	<p>市民のまちづくり参加、意識醸成について</p> <p>行政主導でまちづくりを進めていくと地域側としては「言っても仕方ない」となってしまう部分があるが、まちづくり協議会等で一つ一つ実績を積む中で目に見える成果が出てくると更に欲が出てきて「こうなったら、ああなったら良い」となって、いつの間にか目指すまちになっていたようになるように、行政がサポート、調整できると良い。</p> <p>例えば和歌山市では、地域まちづくりの啓発パンフレットをあらゆる団体に配り、住民発意のまちづくりが進むよう仕掛けている。その甲斐あって、都市再生推進法人となっている団体の数も多い。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。いただきました視点を参考にしながら、活発な市民主体のまちづくりの実現・維持に向け、各種取組みを進めて参ります。</p>